

第5号様式（第6条関係）

城山 中学校 学校運営協議会会議録

会 議 の 名 称	第2回 城山中学校 学校運営協議会（熟議）		
開 催 日	令和8年8月19日（水）		
開 催 時 間	15時00分 ～ 16時00分		
開 催 場 所	城山中学校 多目的室		
出 席 者	校長 教頭 学校運営協議会委員5名（1名欠席） 総括教諭5名 教諭18名（4名欠席）		
傍 聴 の 可 否	可	傍 聴 者 数	0
会 議 の 内 容			
【議題】 1. 学校・地域・家庭の抱える問題についての分類とその改善案について 2. 全体共有			
【主な意見・決定事項など】 1. 学校・地域・家庭の抱える問題についての分類とその改善案について ⇒学校、地域、家庭の分野に分けたベン図を用いて、各分野における課題が、協力して改善できるかを分野ごとに分類しながら、6グループで話し合った。各グループには運営協議会委員と、各学年の職員が入るよう設定をした。 2. 全体共有：以下には全体共有の際に挙げた意見をまとめている。 （1）部活動の地域移行・地域展開について ⇒先生方の負担は軽減されたが、子どもたちへの有益性には疑問と課題が残る。地域指導者の育成を行ってからの地域展開や段階的な地域展開をしていくべきだった。タイミングが早すぎたのではないか。 （2）学力低下とスマートフォン使用による家庭学習への影響 ⇒家庭でのスマートフォン利用のルール設定が学力低下防止には効果的だと思われるため、各家庭でのルール作りが必要であると思う。しかし、それが各家庭誤との判断にゆだねられる為、難しい現状もある。 （3）防犯の地域と家庭の連携の必要性 ⇒地域の環境整備と子どもの自己防衛教育が防犯には有効である。街灯の増設や地域の見守り活動、学校や家庭による自己防衛策教育を進めていくことが重要。			

(4) モラル教育・地域とのつながり

⇒モラル教育や SNS の利用指導はとても重要だが、これに関する解決策が一つではないことが難しい所である。解決の鍵は地域や学校、家庭の様々な「繋がり」ではないか。

(5) スマホ SNSトラブルと生徒支援・地域連携

⇒スマホの家庭内でのルール徹底が好ましいが、家族の責任感や外部機関との連携のハードルがある。学校として関われる範囲が難しく、教員による工夫したアプローチの必要性がある。

(6) 基礎学力低下・防災防犯・思春期問題

⇒学力低下が、非行・依存・いじめ等多方面へ影響すると思われる。防災訓練に関しては地域、家庭との実施ができていない。また、防犯対策も未実施である。思春期を迎えた子どもとのやり取りの難しさを抱えた保護者の相談窓口の充実が必要。学校・地域・家庭の連携が無いと解決は難しい。

【配付資料】

・なし

次回開催予定

11/4 (水) 16:00～